

こまえ生きもの探検隊 調査結果のご報告

「こまえ生きもの探検隊」とは？

市民の力で市内に暮らす身近な生きものを調査するプロジェクトです。狛江の生きものに対して広く市民に関心を持ってもらうこと、市内の自然環境の継続的な把握のために実施しています。



調査期間 | 令和5年6月1日～令和5年9月15日
報告数 | 203件
参加人員 | 958人



生きもの報告数ランキング

1位 546件
昆虫類

No.1 モンシロチョウ
・・・40件

No.2 シジミチョウ (ヤマトシジミ)
・・・38件



● 参加者の写真から
シジミチョウの中でもヤマトシジミが多く見られました。幼虫の食草であるカタバミが多く生育している所に生息し、東野川三丁目樹林地以外すべてで確認されました。

No.3 ショウリョウバッタ
・・・26件

2位 119件
しよくぶつ 植物

No.1 セイヨウタンポポ
・・・13件

No.2 アカツメクサ
・・・7件

No.3 アレチウリ
・・・5件



生育速度が非常に速いつる性植物で、有機質の多い河岸部に多く見られます。開花期は8月～10月です。雌雄同株で果実に鋭い棘を密生します。

3位 118件
ちょうるい 鳥類

No.1 ムクドリ
・・・20件



● 参加者の写真から
平地から低山地の人家近くの林で繁殖し、農耕地、公園の芝生、草地などでよく見られます。駅前などの大きな樹木をねぐらにして人に嫌われることもあります。

No.2 ツバメ
・・・12件

No.3 カモ (カルガモ)
・・・8件

調査から分かったこと

めずらしい生きものについて

東京都のレッドデータブックに記載のある貴重な生物も狛江市内で24種確認されました。こまえ生きもの探検隊参加のてびきに掲載しているニホンカナヘビ、ヒガシニホントカゲ、アズマヒキガエル、カワセミ、ミナミメダカなども多く確認されました。これらは多摩川24件、野川15件とほとんどがこの二か所で多く確認されています。



ニホンヤモリ (爬虫類)

● 参加者の写真から
日本、中国、朝鮮半島に分布し家屋周辺でみられ、夜行性で電灯などの下で昆虫などを待ち伏せして食べます。日本に生息するものは人間の手によって外国から日本へ入ってきたという学説もあります。東京都のレッドデータブックで留意種(現時点では準絶滅危惧のレベルではないが、相対的に数が少ない種)に選定されています。



オオタカ (鳥類)

平地から山地の樹林に生息し、樹上で繁殖します。ハト類やカモ類など主に中型の鳥類を食べます。東京都では多摩部の台地から丘陵に多く生息・繁殖しています。東京都のレッドデータブックで絶滅危惧II類に選定されています。



ヒガシシマドジョウ (魚類)

河川上流から下流、水路の流れの緩やかな砂底から砂泥底に生息しています。東京都内では河川改修などによる影響で地域的な絶滅の危険性があります。東京都のレッドデータブックで絶滅危惧II類に選定されています。



こまえにも
タカがいるんだね～

外来種について

今回の調査で確認された外来種は8種でした。鳥類ではガビチョウ、昆虫類ではアカボシゴマダラ、キボシカミキリ、セイヨウミツバチ、甲殻類ではアメリカザリガニ、植物ではアレチウリ、オオキンケイギクでした。その中で飼育などが禁止されている特定外来種を紹介します。



ガビチョウ (鳥類)

丘陵地・平野部の低木林に生息し、藪を好み、地上で餌を採り、地上をよく走り、あまり飛びません。繁殖期は4月～7月です。



アカボシゴマダラ (昆虫類)

● 参加者の写真から
都市部から里山に生息し、繁殖期は5月～10月で少なくとも年3回発生する。白化した春型および赤紋の出る夏型があります。



オオキンケイギク (植物)

キク科の多年生草本で、高さは0.3m～0.7m程度になり、路傍、河川敷、線路際に生育します。開花期は5月～7月です。以前は鉢植えや花壇に利用されていました。

調査場所の確認種ランキング

参加者からの写真

各調査地点で多く見られた生きものを発表します。

① 野川 37件

No.1 アカトンボのなかま 4件
オカダンゴムシ 4件
カワセミ 4件
ハクセキレイ 4件

その他
アブラゼミ、ムクドリ、オンバツタ、テントウムシのなかま、ニホンカナヘビ、ヒガシニホントカゲ、オオカマキリ、カブトムシ、セイヨウタンポポ、タヌキ、ドングリのなる木、ミスジマイマイ、ミナミメダカ

② 岩戸川緑地公園 5件

No.1 アカトンボのなかま 3件
No.2 オカダンゴムシ 1件
ヒガシニホントカゲ 1件

③ 多摩川 45件

No.1 オンバツタ 7件
No.2 ムクドリ 6件
テントウムシのなかま 6件
ツバメ 6件
No.3 オカダンゴムシ 5件
ミナミメダカ 5件

その他
アカトンボのなかま、オオカマキリ、カワセミ、ハクセキレイ、アブラゼミ、セイヨウタンポポ

④ 狛江弁財天 16件
特別緑地保全地区

No.1 ミスジマイマイ 4件
No.2 オカダンゴムシ 3件
No.3 アブラゼミ 2件
ヒガシニホントカゲ 2件

その他
オンバツタ、ムクドリ、ツバメ、アカトンボのなかま、ドングリのなる木

⑤ 西河原公園 12件
(緑江プレパーク)

No.1 アカトンボのなかま 5件
No.2 セイヨウタンポポ 3件
No.3 ヒガシニホントカゲ 2件

その他
オカダンゴムシ、テントウムシのなかま

⑥ 中和泉樹林地 3件

No.1 ムクドリ 3件

⑦ 前原公園 30件
(とんぼ池公園)

No.1 セイヨウタンポポ 5件
No.2 ムクドリ 3件
アカトンボのなかま 3件
ドングリのなる木 3件
ミナミメダカ 3件

その他
オカダンゴムシ、テントウムシのなかま、ヒガシニホントカゲ、アブラゼミ、オンバツタ、ツバメ、カワセミ、ハクセキレイ、カブトムシ、タヌキ、スズキ

⑧ 野川緑地公園・西野川樹林地 12件

No.1 オカダンゴムシ 4件
No.2 テントウムシのなかま 2件
オンバツタ 2件

その他
セイヨウタンポポ、アブラゼミ、ツバメ、オオカマキリ

⑨ 東野川三丁目樹林地 1件

No.1 テントウムシのなかま 1件

その他 56件

No.1 オカダンゴムシ 14件
No.2 ヒガシニホントカゲ 13件
No.3 ムクドリ 4件
アカトンボのなかま 4件

その他

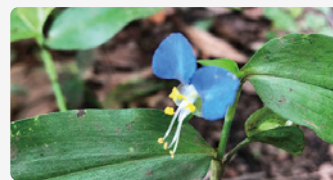
テントウムシのなかま、ニホンカナヘビ、オンバツタ、セイヨウタンポポ、アブラゼミ、ツバメ、オオカマキリ、カワセミ、ハクセキレイ、カブトムシ、タヌキ、ミスジマイマイ、アズマヒキガエル



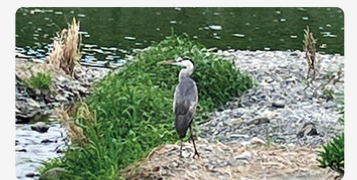
参加者からご報告いただいた写真の一部を紹介するよ。みなさん、たくさん見つけてくれてありがとう！



ヒルガオ
朝に咲く「朝顔」に対して、昼間咲いているので「昼顔」と呼ばれ、日当たりのよい野原や道ばたなどに生育し、地中に白色の地下茎をのぼしてふえます。コヒルガオ、西洋ヒルガオなどもあります。



ツユクサ
一年草で、市街地の空き地や道端、草地、土手などの日当たりのよいところから半日陰のところに見られます。朝露がよく似合い、真夏の朝に鮮やかな青い花を咲かせます。6月～9月に開花します。



アオサギ
日本で繁殖するサギの仲間の中で最大です。水辺で魚などを採りますが、鳥類のヒナ、小型哺乳類を食べることもあります。樹の上に枝を積み重ねて巣を作り繁殖します。



ヒガシニホントカゲ
市街地、森林、農地周辺などの日当たりの良い場所を好んで生息しています。危険を感じると尻尾を切断して逃げます。



アキアカネ
赤とんぼの代表です。平地から山地にかけて水田、池、沼、湿地に生息します。成虫は6月～12月に見られ、多くが初夏の夜に羽化します。



タマムシ
全体に緑色の金属光沢があり、背中に虹のような赤と緑の縦じまが入る非常に特徴的な見た目です。成虫の餌であるエノキやケヤキに生息しています。



クサギカメムシ
カメムシは身の危険を感じると自分を守るために悪臭を放つので嫌われています。サクラ、モモ、クワなどの上で生活し、冬には家屋の屋根裏などに入り込み越冬します。



コフキコガネ
平地から山地の林内や林縁などに生息するコガネムシの仲間。体の表面が粉を吹いたようになっていことからコフキコガネと呼ばれています。日中は樹上で広葉樹の葉を食べ、夜間は灯火によく飛来します。



ハグロトンボ
カワトンボの仲間は同じような形をしていますが、ハグロトンボは羽が黒いので区別がつきやすく、チョウのようにひらひらと舞うように羽ばたきます。平地から低山地のヨシなどが茂るゆるやかな流れの川に生息しています。